

小学校第4学年社会科学学習指導案

日 時 平成25年9月30日(月)

指導者 4年担任 教諭 東 篤哉

1 単元名 「受け継がれてきたものには、どんな願いがあるの」

(日本文教出版 3・4年下 p.66～p.83)

2 単元について

(1) ねらいについて

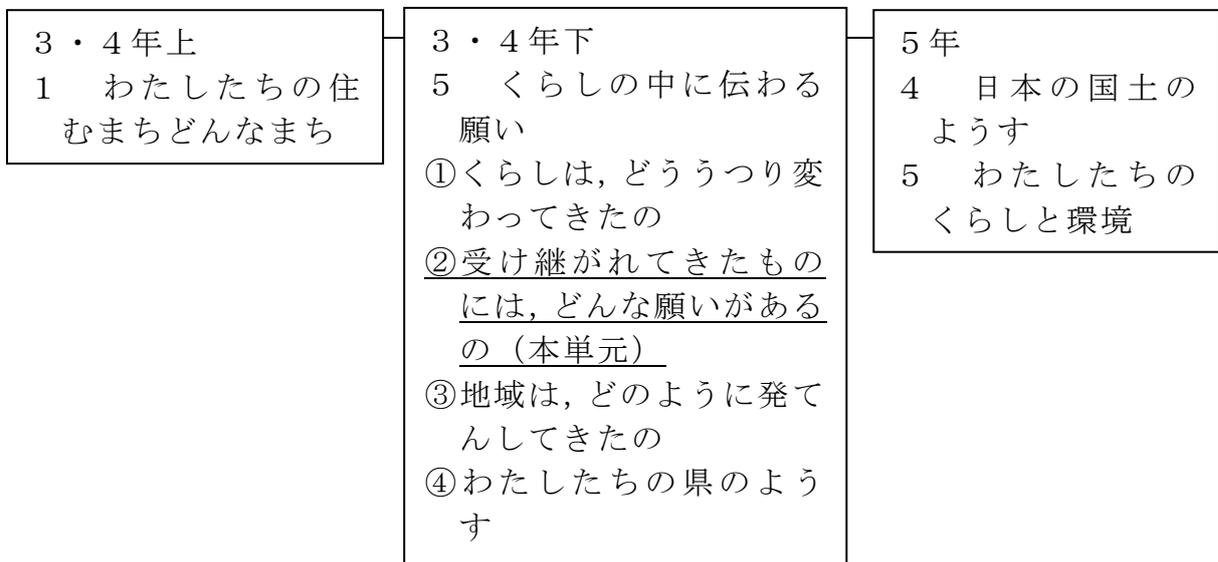
本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の内容(5)「地域の人々の生活について、次の事を見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」のイ「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」を受けて設定されている。

ここでは、地域に昔から残る祭りや年中行事、建物を通して、地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事には、地域の発展やまとまりなどへの人々の願いが込められていることなどを学ぶ。さらに、地域に暮らす人々の生き方に触れることもねらっている。

人吉球磨地方には、多くの古い神社や仏閣等の歴史的建造物があり、山江村も例外ではない。今回教材として取り上げる「東浦臼太鼓踊り」は、江戸初期より地域の長男のみで伝承されてきた太鼓踊りである。源平合戦の様子を模したものといわれ、当初の姿をよく残した状態で伝えられている。20年ほど前に一度伝承が途絶えたが、4年前に保存会の方々の努力により復活し、例大祭や山江村の行事などにおいて、定期的に披露されている。

指導にあたっては、実際に文化財や年中行事の保存・継承に携わる人の話を聞いたり、調べたりする活動をすることで、地域の発展を願った昔の人たちの思いや、今も受け継ぎ後世に伝えていこうとしている地域の方々の努力や工夫を、身近なこととしてとらえることができると考える。そして、さらに自分たちもそのような伝統文化継承の一員であるという自覚が高まり、地域への愛情も深まると考える。

(2) 系統について



(3) 児童の実態 (男子18人, 女子13人, 計31人)

ア 学び方についての実態

1学期の学習では, 単元導入時に学習問題を設定し, 資料を活用したり, 実際に調査をしたりして調査し, 分かったことをまとめていくという問題解決的な学習に取り組んできた。気づきや疑問から学習問題を設定したり, 問題を具体的に調査したりする力は伸びてきている。

また, 地域の身近な社会的事象を具体的に学習するためか, 学習に意欲的に取り組む姿も見られる。

ただし, 資料から必要な情報を読み取ったり, 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえたりする等「資料の効果的な活用」については, まだ課題が多い。

イ 本単元に関わる力及び関心・意欲についての実態より 単位：人

項目	とても	まあまあ	あまり	いいえ
○社会科の内容で, 知りたい, 調べたいと思うことはありますか。	11	16	2	2
○調べる方法を考えることは得意ですか。	10	15	5	1
○資料を使って調べることは得意ですか。	20	10	1	0
○地域の人に質問したり, インタビューしたりすることは得意ですか。	9	15	6	1
○調べたことをまとめることは得意ですか。	15	10	5	1
○調べたことを全体で発表することは得意ですか。	9	11	7	4
○調べたことを友達と伝え合う学習は得意ですか。	15	15	1	0
○山江村に古くからある建物, 昔からある祭りなどを知っていますか。 山田大王神社, 高寺院, もぐらうち, 山田伝助の墓, 合戦の峰観音, 山田城, 臼太鼓おどり				

本単元に関わる力及び関心・意欲についての実態調査の結果から, 社会科に対し, 多くの児童が得意意識を持っていることが分かる。見いだした問題を自分なりの方法で解決する問題解決的な学習についても, 多くの児童が好意的に感じていることが分かった。一方で, 調査したことを出し合う「共有」の場面については, 活発に意見が出されるものの, 発表がやや一部の児童に限られているということが分かる。展開の工夫・改善が必要である。

山江村に古くからある建物, 昔からある祭りに関して自由記述を求めた問題では, 無回答の児童はいなかったものの, 記述した数は少なく全体的に関心は高いとはいえない。また, 記憶も曖昧なようで, 正確な記述をした児童は少数であった。今回取り上げる「東浦臼太鼓踊り」を書いていた児童は一人だけで, 本実践においては, まず児童の関心・意欲を喚起する必要があることが分かった。

(4) 指導にあたって

- 導入では、写真や映像、実物の衣装を提示し、児童の関心や追究意欲を喚起したい。
- 「東浦臼太鼓踊り」が長い間地域住民に受け継がれてきたことを、視覚的にとらえられるよう、巻物型年表を活用し提示する。
- 本単元は、人から人へ受け継がれていく願いや思いを知ることが重要である。「東浦臼太鼓踊り」は20年ほど前に一度伝承が途切れ、4年前に再興されたという歴史がある。再興に向け努力した人や、その時の苦労に視点をあて、指導をすすめていきたい。
- 本時は、予想が「思いつき」になることがないように、資料から分かること、資料から考えたことを書くようにする。その際、資料をデジタル化し、根拠となる資料を電子黒板に映し出して説明できるようにする。
- 全体での伝え合いの場面では、話し合いが停滞したり堂々巡りしたりすることがないように、指導者も適時適宜話し合いに参加する。板書を活用して意見を整理したり関連づけたりし、学び合いを可視化するように努め、児童の考えを広げ深めていきたい。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・学習問題に対する予想を考える場面では、資料を電子黒板で提示し、児童が資料に関連させながら学び合うことができるようにする。

②児童の活用

- ・考えを全体で練り上げる場面では、予想の根拠となる資料を電子黒板に映し出して、児童が「考えを共有」しながら、学びを広げ・深めることができるようにする。

3 単元の目標

地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事に関心をもち、古くから伝わる文化財や年中行事の内容やいわれなどについて調べ、地域の発展やまともりなどへの人々の願いが込められていることを考えるようにする。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①村に残る昔からの年中行事や建物などの文化財に関心をもち、意欲的に調べている。 ②調べたことをもとに、地域の文化財や年中行事に関心を深め、	①村に残る年中行事や古い建物などには、人々のどのような願いやいわれがあるのか学習問題をつかみ、考えている。 ②地域の文化財や年中行事に受け	①年中行事や文化財について、次のことを見学したり聞き取り調査をしたりして具体的に調べている。 ・村に残る年中行事 ・村に残る古い建	①村には、昔から伝えられた祭りなどの行事があり、地域の人々の願いが受け継がれていることを理解している。 ②村には、古い建物や文化財が残

地域社会に対する誇りを持ち、大切にするためにどんなことができるかを考えようとしている。	継がれている人々の願いや、それらを受け継ぐ人々の努力を考え、適切な言葉で表現している。	物や施設	されていて、地域の人々の願いが受け継がれていることを理解している。
---	---	------	-----------------------------------

5 指導計画および評価規準（10時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	思	技	理	評価規準・評価方法
1	山江村にある、昔から受け継がれてきたものに関心を持ち、学習計画を立てる。	山江村にある昔から受け継がれてきた文化財や年中行事を紹介する。 どうして古いもののままの状態が続けようとするのかに問題意識を向けさせる。	○				<u>関心・意欲・態度</u> 【発言・観察】 村に伝わる行事や祭り、古い建物について関心を持ち、学習問題をつかみ、調べる計画を立てることができる。
2	村に残る古い建物や文化財について調べたことを発表し合う。	村に残る古い建物や文化財について聞き取ったことを発表させ、地図にカードを貼らせる。			○		<u>技能</u> 【発言・観察・ノート】 村に残る古い建物や文化財について聞き取ったことを発表し、地図に表すことができる。
3	山田大王神社について調べる。 ・神社の歴史 ・建物の特徴	資料やパンフレットを活用し、山田大王神社の歴史や建物の特徴について調べる。				○	<u>知識・理解</u> 【ノート】 山田大王神社について調べたことをシートにまとめることができる。
4	山田大王神社について調べたことを発表する。 ・神社の歴史 ・建物の特徴、 願い	山田大王神社について調べたり、聞き取ったりしたことをもとに、神社の歴史や建物の特徴、人々の願いを考えさせる。		○			<u>思考・判断・表現</u> 【発言・観察・ノート】 神社について調べたことや資料をもとに、神社の歴史や建物の特徴、人々の願いを考えることができる。

5 本 時	「東浦臼太鼓踊り」の取組について知り、「どんな願いで、どのように受け継がれているのか」ということについて問題意識をもつ。	20年ほど前に途絶えた踊りを再興したという歴史にふれ、「再興しよう」と考え保存会を発足した人、踊りを受け継いだ人、地域の人々の姿に着目させていく。	○				<u>関心・意欲・態度</u> 【発言・観察】 「東浦臼太鼓踊り」に込められた地域の人々の思いや願いについて、資料をもとに予想することができる。
6 ・ 7	保存会の方々と交流し、自分の課題を解決する。	「文化財や年中行事の保存・継承に携わる人から話を聞く活動」をより効果的に実施するため、講師の人数に合わせ、交流する場や方法を工夫する。		○			<u>思考・判断・表現</u> 【発言・観察・ノート】 保存会の方々と交流を通し、自分の課題を解決することができる。
8	保存会との交流で分かったことをまとめ、「東浦臼太鼓踊り」がどんな願いでどのように受け継がれてきたかを考え、まとめる。	「東浦臼太鼓踊り」について調べたことをもとに、学習問題「どんな願いでどのように受け継いでいるか」についてまとめる。				○	<u>知識・理解</u> 【ノート】 村には、昔から伝えられた祭りなどの行事があり、地域の人々の願いが受け継がれていることを理解している。
9	村に残る古い建物や伝統行事をどう受け継いだらよいか考える。	村に残る古い建物をどう受け継いだらよいかを、前時までの学習をもとに話し合わせる。	○				<u>関心・意欲・態度</u> 【発言・ノート】 これまで調べたことをもとに、村に残る古い建物をどう受け継いだらよいか考えることができる。
10	村に残る古い建物や伝統行事のパンフレットや絵地図を作る。	「東浦臼太鼓踊り」については、分かったことをパンフレットにまとめさせる。				○	<u>技能</u> 【絵地図・パンフレット】 村に残る古い建物や伝統行事のパンフレットや絵地図を作ることができる。

	<p>5 自分の考えをまとめる。 (C) 山田大王神社と同じで、地区の宝と思っていると思う。 (C) 私たちや未来に伝統を残していきたいと努力されているのではないか。</p>	<p>A基準 B基準に加え，根拠を示しながら自分の考えを書いている。 〈B基準に達していない児童への手立て〉 提示した画像の中で理由がわかりそうな画像を選ばせ，その理由を吹き出しにして書くよう助言する。</p> <p>徹底指導（ポイント） 予想が「思いつき」になることがないように，資料から分かること，資料から考えたことを書くようにする。</p>	
<p>終 末 3 分</p>	<p>6 次時の見通しをもつ。</p>	<p>○「東浦臼太鼓踊り」の保存会の方をゲストティーチャーとして招き，予想を確かめることを知らせ，学習意欲を高める。</p>	